

73ならぬ77とは何ぞや？

JJ1SXA/池

TWO-FORTY 誌第 108 号で、「73と88そして33」という記事を書いています。最近、CW 愛好家の間で話題になっている新しい合言葉の紹介ということで、CQ 誌 2020 年12月号に記事がありました。また、2021 年2月号には、「Long Live CW Award/CW77」というアワードも発表されています。

77=Long Live CW→「CW が末永く利用され続けますように」という CW 愛好家の願いがこもった合言葉とのことで、Long Live の頭文字「LL」を 180 度回転させると、TT=77 と読めるからとのこと。

前号のおさらい、

73=Best Regards (よろしく・男性にさようなら)

88=Love and Kisses (愛を込めて・女性にさようなら)

33=Love sealed with friendship between one YL and another YL (YL 二人の間で交わされた友情と親愛の証し・女性同士のさようなら)

これ等に加えて 77 (Long Live CW) です。

ところがこの他にも、

44、72、161 なる数字略号もあるようです。

「44」は、移動局同士で使うようで、自然公園アワード「Flora and Fauna」の発音が由来のようです。

別の説明を見つけました、…「44」は男同士の別れの挨拶です、「88」が身体を抱くようにするハグだとすれば、「44」は握手で、決して心のこもらない「88」(half-hearted 88) ではありませんというもので、「交信ありがとう、アクティベーションの成功を祈る」というメッセージだということだ…とのこと。

「72」は、QRP 局に対して使うようで、小電力だから 73 より小さくが由来か？とのこと、素晴らしい発想です、QRP 局同士だと誇らしげに、お互いに 72 を送りあうようだ。

「161」は、Best regards to you and your XYL→「あなたとあなたの奥さんにさようなら」、かつて G5RV (Louis Varney) が設立した FOC 同好会 (First-Class CW Operators' Club) で交わされた「さようなら」の符号、つまり「73+88=161」、73&88 ではなく、合算するという、これも素晴らしい発想です。

以前から、73,88,33 は当然、何時の頃からか、44 を打っている局がいて面喰ったことがありました、ニュースに疎かったのです。

常に、ニュースに耳を傾ける必要があると思いましたが、まあ一面その程度の事なら知らなくても良いだろうとの意見もあることでしょうが…